

中小だより

いきいき・わくわく・笑顔いっぱい中結城小学校

令和3年
2月3日
第13号

八千代町菅谷351
電話48-0322

～春の訪れを感じて～

節分とは季節の分かれ目を意味し、立春、立夏、立秋、立冬の前を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前日だけを言うようになりました。今年は124年ぶりに2月2日が立春になり、2日が節分でした。最近では豆まきよりも恵方巻きの人気が高まって、大豆を年の数より一つ多く食べるよりも太巻丸かじりをする家庭が多くなっているようです。まだまだ、寒い日が続く時期ですが、日差しの強さに春の訪れを感じ始める頃でもあります。

さて、新型コロナウイルスがニュースになってから一年が過ぎましたが、まだ収束の気配はなく、感染拡大が収まりません。だれがかかってもおかしくありません。感染することへの不安もあると思いますが、より怖いのは感染していること、感染しているおそれがあること等を理由とする偏見、差別、ひぼう中傷等が起こることです。学校においても指導してまいります。ご家族でも他人事ではなく、自分事として捉えるようお話してください。

3学期もあと2ヶ月。1年間の仕上げの時期であるとともに次年度への橋渡しの時期でもあります。子どもたちには自分の成長をしっかり自覚させ、次年度につなげていきたいと思っております。



2月の予定



日(曜)	主な行事	日(曜)	主な行事
1(月)	教育相談①	12(金)	P.T.A常任委員会
3(水)	教育相談②	16(火)	愛校作業(ロング昼休み)
4(木)	学校保健委員会(文書のみ)	17(水)	月例テスト(計算力)
5(金)	教育相談③	18(木)	委員会反省
8(月)	教育相談④	23(火)	天皇誕生日
9(火)	教育相談⑤	24(水)	表彰式(zoomによる集会)
10(水)	6年生出前授業「認知症講座」	25(木)	クラブ反省
11(木)	建国記念の日	26(金)	学年末授業参観

「自分の命は自分で守る」火災時の避難訓練実施

22日(金)の5校時に火災を想定した避難訓練が行われました。理科室から出火したという設定で行われ、避難指示から2分58秒で全員が避難完了しました。校長先生のお話の中に「無駄話をせず真剣に行くこと。自分の命は自分で守ること」があり、危険を回避するための判断力が大切ということでした。



伝統(日本文化)を大切に!



1月中に各学級毎に校内で書き初めが行われました。現在各学年の廊下にはその時の作品が掲示してあります。今はパソコン全盛時代で、手書きの文字を書く機会が減っています。そんな中、1年生、2年生はフェルトペンをつかった硬筆、3年生以上は毛筆で書きました。どの学年の児童も真剣に、心を込めて一字一字丁寧に書いていました。今も書き初めをする習慣や文化が残されていることは大変貴重です。日本の伝統文化を見直す機運が今社会の中に見られるようになったことはよい傾向と言えるかもしれません。どの学級も力作揃いの作品が完成しました。

今年度は校外学習を出前授業で行いました。

1/15 4年生出前授業(笠間焼き体験)

1月15日(金)笠間市の松佐陶工の方を講師にお招きして陶芸体験を出前授業を行いました。県内の伝統工芸(笠間焼き)について関心を持ち、陶芸体験を通して伝統工芸のよさについて知るとともに地域の特色を生かして続けられている様子や守っていく努力についても学ぶことができました。子ども達は、自分の作った工芸品の完成が今から楽しみです。



1/20 6年生出前授業学習(原子力教室)

1月20日(水)3~4校時にかけて茨城県原子力協議会の方を招いて原子力教室の出前授業を行いました。放射線についての説明をうけた後、霧箱による放射線の実験を行いました。児童一人一人が実験できたので、講師の先生の話じっくり聞いて取り組む事ができました。興味をもって行い、放射線が見えた時には驚きの声や歓声があがる程でした。貴重な体験を行うことができました。



手洗い指導(保健委員が1年生に指導)

1月19日(火)20日(水)の昼休みを利用して、保健委員の5、6年生が1年生を対象に上手な手の洗い方について教える機会がありました。感染症対策にも繋がります。1年生に対してなぜ手洗いをするのか分かりやすく説明した後、手の洗い方について実践しました。大変勉強になりました。

